



## 日本拳法全国連盟中部日本本部

本部長 山田紀男

少年のソフト面(仮名)を装着して(小学四年生より中学生までを対象)全試合を実施致します。

日本拳法は大学拳法を中心に発展し、その結果多くの日本拳法の修得者を全国に輩出して参りました。それらの人々により全国各地に日本拳法を学べる教室、クラブ、道場が生まれ、それと共に青少年も多数参加するようになりました。

現在拳法人口に占める若年層の人口比率は年々増加傾向にあるのも事実であります。今後の試合におけるソフト面装着は若年層の顔面の安全性を確保するためには絶対に必要であると痛切に考えます。

## ソフト面(仮名)装着について

猛暑の夏も去り、秋の風を感じる季節となりました。会員各位におかれましては増々の御精栄大慶に存じ上げます。本年度も中期に入り各事業計画も関係各位の御尽力により順調に推移し下期に向かって進行中であります。

今年平成二十八年十一月十三日に開催されます第三十回日本拳法中部総合大会より

よって中部日本本部は第一歩として今後、中部地区の全試合にソフト面装着での試合を徹底し実施致します。

これからの日本拳法を取り巻く環境は以前とは異なりインターネット等通信網の発達により急激に国際化する時代に入っており、そのスピード化を視野に入れ明日の日本拳法の発展のため全力を傾注致します。

第三十回 日本拳法

中部総合大会

平成二十八年十一月十三日(日)  
場所 名東スポーツセンター  
開会式 午前九時三十分

開催!